

広報部会員による 就業現場レポート (第22回)

～水辺での思い出を支える匠たち～

公園管理ボート場

四季折々の風景を楽しみに、多くの来園者が訪れる横十間川親水公園ボート場。利用者の安全を守りながら、心地よい時間を提供する大切な役割を担っています。

水辺での思い出づくりを陰で支える会員の方々にお話を伺いました。

公園管理ボート場 (令和7年8月末現在)

就業会員 9名 就業場所 横十間川親水公園内

就業時間 平日 ▶ 8:30～17:00 土日祝 ▶ 12:00～17:00 ※平日は時期により異なる

主な就業内容 乗降時の案内、ボートの定期点検、小型船舶操縦免許所持者によるボート回送

ボートの種類 手漕ぎボート、ペダル漕ぎボート



Q. この仕事をするようになったきっかけを教えてください。

A. 住んでいる所の目の前がボート場で、就業することに憧れを持っていたからです。ボート場には船舶免許が必要になる業務もあると聞いていたので、この仕事のために免許を取得して備えていました。今、就業することができて幸せです。

Q. この仕事のやりがいについて

A. ボート利用者から「また来たい」と言ってもらえた時に嬉しさを感じます。また、子供達へボートに乗るという体験を幼少期からさせてあげられることもやりがいを感じます。こんなに楽しい仕事は現役時代にもなかったんじゃないかなと思います。

Q. 仕事をしていて、苦労していること等がありますか？

A. 去年よりも今年、今年よりも来年が暑くなりますから、熱中症にならないように気を付けて就業しています。また、お客さんの安全を第一に考えて乗降時に船を力いっぱい引っ張ることがあるので、結構力を使うことがあります。

子どもたちの「ありがとう」「また来るね」の声に癒され、やりがいを感じる職場です。お客様の笑顔に励まされ、仲間と協力しながら安全に楽しい時間を提供する姿から、生きがいあふれる現場だと感じました。訪れた際は、是非ボートに乗って楽しいひとときと思い出を作ってみてください。